

## I 七尾市のプロフィール

石川県七尾市は能登半島の中程に位置し、平成16年(2004年)10月1日、(旧)七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の1市3町が合併し、新生七尾市として新しい一歩を踏み出しました。

この地域は、天然の良港として栄えてきた七尾港を海の玄関口とし、古代より能登の政治・経済・文化の中心地として発展を続けてきました。

また、渚のいで湯として全国的に有名な\*和倉温泉や、様々なリゾート施設を有する能登島をはじめ、観光資源にも非常に恵まれた、魅力あふれる市です。



\* 和倉温泉「加賀屋」は、「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で<35年連続、総合1位>

2023年1月、2年ぶりに日本1振り返り。

「もてなし」「料理」「施設」「企画」の4つの部門の総合評価で1位となった加賀屋は、48回の歴史の中で今回が41回目の日本一に輝きました。

和倉温泉「加賀屋」

せいはいくさい  
青柏祭

(ユネスコ無形文化遺産登録・国指定重要無形民俗文化財)

若葉萌える5月の連休に行われる大地主神社(山王神社)の春祭りで、能登地区最大の祭礼。高さ12m、重さ20tの日本一大きな山車3台が狭い町なかを曳き廻される。訪れる人々が山車を曳くことができる参加型の祭り。毎年5月3~5日



能越自動車道路(七尾~氷見)開通

平成27年2月28日氷見~七尾間が全線開通し、新高岡駅まで60分と近くなり、能登の玄関口として期待される。



七尾市は「天然の生簀」と呼ばれるほど、多種多様な魚介類が七尾湾で水揚げされる。サヨリ、能登本マグロ、アオリイカ、寒ブリ、能登かき、なまこなど四季を通じて新鮮な魚介が市場に並ぶ。地魚を使った握りや海鮮ちらし寿司はカウンターで昔堅気の大將の粋を感じながらいただきたい

( 令和 5 年度 )

II 七尾市シルバー人材センターあらし

1) 名称・所在地・代表者

公益社団法人 七尾市シルバー人材センター  
本 所 七尾市小島町西部 1 番 3  
七尾市勤労者総合福祉センター (市より無償貸与で貸館施設を自主運営)  
鹿北支所 七尾市中島町豊田町マ部 1  
理事長 藤 勝 好  
HP <http://www.sjc.ne.jp/nanao>

2) 設 立

昭和 56 年 4 月 1 日 任意団体  
(昭和 58 年 9 月 1 日法人化、法律 46 条指定日 昭和 58 年 10 月 1 日)  
鹿北支所 平成 16 年 10 月 1 日 七尾市、田鶴浜町・中島町・能登島町の各シルバーと  
市制統合と併せ合併。(1 本所・3 支所体制)  
平成 19 年 4 月 1 日 (3 支所を 1 支所に統合し、1 本所・1 支所体制)

3) 会 員

(R5. 3. 31)  
**1, 0 1 0 名** (本所 7 4 3 名 支所 2 6 7 名)  
( 男 486 名 女 524 名 )  
**粗入会率 4. 49%** (石川県全体 2. 3%) …60 歳以上人口に占める会員率  
※ 七尾市人口 男 23, 650 人、女 26, 010 人、計 49, 660 人  
※ 七尾市 60 才以上 男 9, 864 人、女 12, 638 人、計 22, 502 人  
※ 高齢化率 男 35. 12%、女 42. 72% 全体 39. 10%  
※ 粗入会率 男 4. 93%、女 4. 15% 全体 4. 49%

4) 役 員

**2 4 名** (R5. 6. 1)  
理事 22 名 (理事長、副理事長、専務理事各 1 名及び理事 19 名、)  
(会員 21 名、行政 1 名：七尾市福祉部長) ※ 参考：女性理事 7 名  
監事 2 名 (会員 1 名、行政 1 名：七尾市会計管理者)

5) 事務局体制

事務局長 (専務理事兼務)	1 名 (継続雇用)
業 務 係	4 名 (プロパー 1 名)
経 理・庶務係	2 名 (プロパー 2 名)
サポート事業係	1 名
鹿北支所	2 名 <u>合計 10 名</u>

6) 会 議

定期総会 1 回 (5 月)  
理事会 毎月 1 回、専門部会は必要の都度開催

※. 専門部会 ①能力開発…会員の講習、知識の向上 (支援・育成事業)、役員視察  
②普及啓発…会報作成、ボランティア、ふれあい市、ホームページ、Facebook  
③会員拡大…シルバー便りロコミ、入会相談、会員紹介制度、サークル会員  
④就業開拓…チラシ配布、往復ハガキ、仕事紹介制度  
⑤総 務…上記に属さない事項及び事務局職員に関する事項  
⑥あすなろ会…会員の福利厚生  
(ボウリング大会、ウォーキング、忘年会、年 3 回旅行、サークル補助、慶弔等)

- ⑦安全・適正就業委員会…安全・適正就業企画立案  
(毎月安全パトロール・優良運転者推薦・先進地視察・運転研修)

7) 会 費 2, 200円 内訳 正会員会費 1, 000円  
互助会会費 1, 200円 (センターとは別会計)  
10月以降の新入会員は会費半額。  
1月以降の新入会員は4月入会を条件に会費無料。

8) 補助金 Aランク (令和5年度)  
連合補助金 11, 541千円 (本体事業7,829千円+サポート事業3,712千円)  
七尾市〃 11, 541千円 (国庫補助と同額負担)  
合 計 23, 082千円

9) 職群班 ①剪定班 ②草刈班 ③除草・清掃班 ④不用品 ⑤伐採  
8リーダー 8リーダー 6リーダー 1リーダー 1リーダー  
班リーダー手当 (毎月千円)、班補助 (リーダー毎) 年間1万円  
(電話連絡代金充当) (会議費充当)

#### 10) 令和4年度実績

受託事業		派遣事業	
受注件数	5, 671件	受注件数	28件
就業延人員	67, 812人日	就業延人員	6, 466人日
契約金額	327, 201, 803円	派遣金額	36, 986, 649円
就業率	60.8%		
事務費 公共12%・民間12% (消費税内税)		派遣手数料 20%+消費税10%	

※ インボイス制度に対応 令和5年10月より 10%→12%

#### 11) 技能講習 (令和4年度)

- ① 石川県シルバー人材センター連合会が主催の講習 (高齢者活躍人材育成事業)  
・公園施設管理講習 8名 ・刈払機取扱作業安全衛生教育 12名  
② 石川県シルバー人材センター連合会の支援講習 (七尾市シルバー人材センター主催)  
・庭木手入れ後継者育成講習 10名 ・刈払機取扱作業安全衛生教育 14名  
・清掃講習 6名

#### 12) 独自事業 令和4年度

##### ① 大型門松、ミニ門松、ミニミニ飾り

特大門松 18対 (2.1m)、大門松 45対 (1.8m)、ミニ門松 153対 (90cm)、  
ミニミニ飾り 10個、門松洋風 19個 **販売合計 3, 583, 800円**

##### ① 縄・輪飾り、ほうらい (毛筆・切抜き)

縄 230本、輪飾り 251個、ほうらい 266枚、榊 122本、仏花 292本  
**販売合計 1, 038, 065円**

##### ② リサイクル事業

元々、七尾市、中能登町より一般廃棄物収集運搬業の許可を受けて家庭ごみの収集運搬を業として行っていた。平成19年2月に起きた能登半島地震により、地震の後片付けや家財の整理として不用品処分 (家庭ごみ) の依頼が増え、大量の不用品が集まることとなり、まだ使えるものはもったいないので、リサイクル品としての販売を行うようになった。

※市民等から無料で引き取った物品のため、古物商の許可はいらぬ。

- ・事業拡大していくための、国の補助金・旧企画提案事業補助金を活用して、当初はエコ推進事業として展開。 (※現在は自立して補助金なし。)

- ・市内空き店舗を活用してリサイクルショップを開店することで商店街の活性化

### < 店舗の機能 >

会員手作り農産物、手作り品（委託販売）、こだわり味噌（独自事業）の製造販売  
サークル活動、将棋大会

- ・定期的にイベント、ふれあい市（毎月第2日曜日）開催（リサイクル品等販売）

- ・地産地消 ・こだわり味噌（七尾・能登産の大豆・水・塩・麴にこだわり）

### < リサイクルショップ > 5店舗（令和5年6.1）

- (1) 「ゆずりあい」本館 平成19年11月1日オープン（常設展示）  
平成20年度より 毎月第二日曜日「ゆずりあい市」開催
- (2) 「看板婆：かんぱんむすめ」平成28年7月23日 松本店より移転オープン  
（アンテナショップ松本店）平成21年4月29日松本町にオープン
- (3) 「アンテナショップリボン店」平成23年7月16日オープン  
軽食・喫茶コーナー設置 平成27年7月  
（毎週月～土曜日オープン）
- (4) 「リサイクルショップ鹿北店」平成25年4月1日いきいき交流館より移転オープン
- (5) 「旧御蔵中学の体育館」家具等のリサイクル倉庫として活用。  
平成30年11月に「再生市場」を閉館し移転。  
市の教育委員会の施設であるため、今後の活用方法を模索中。

### 令和4年度 リサイクル・委託販売・喫茶等 販売実績表

家具類	413,385 円
家庭用品	2,147,051 円
衣類	1,424,085 円
電化製品	102,100 円
委託販売	6,736,415 円
こだわり味噌	121,375 円
軽食・喫茶	1,834,700 円
合 計	12,779,111 円

#### 1 3) あすなろ会（互助会）

- 慶 弔 卒寿・米寿・喜寿祝（総会事に記念品）  
負傷・疾病に見舞金、死亡に香典・弔電
- 助 成 春の旅行（日帰り）・夏の旅行（日帰り）・秋の旅行（一泊）、  
忘年会（一泊）、ボウリング大会  
サークル活動助成（習字、カラオケ、リフォーム2グループ、オカリナ）

#### 1 4) シルバー便り（毎月発刊）

昭和56年発足当初より、全会員に地区班長を通して「シルバー便り」を配布している。  
各種行事、案内等を掲載している。

## <全国で見る七尾市シルバー人材センターの事業成績>

令和元年度 全国番付表

※全国統計より独自調査

- |                    |              |                   |              |
|--------------------|--------------|-------------------|--------------|
| (1) <b>粗入会率</b>    | <b>全国第3位</b> | (2) <b>女性会員比率</b> | <b>全国第2位</b> |
| 会員数 1,000 名以上      | 粗入会率 4.64%   | 会員数 1,000 名以上     | 女性比率 50.94%  |
| (3) <b>独自事業売上高</b> | 2,227 万円     | <b>全国12位</b>      |              |

### 七尾市シルバー人材センターの運営について

#### 1. 現状について

- ・就業率は 60.8%と低調だが、サークル活動（習字、カラオケ、リフォーム（2グループ〔本所・支所〕）、オカリナ）、互助会組織、あすなろ会（旅行3回・忘年会・史跡めぐり、ウォーキング・ボウリング大会・ふれあいの集い年2回）の参加など生きがいの充実を求めて入会する会員増えてきております。
- ・リサイクル事業はアンテナショップを通じて売上実績が堅調に伸びてきております。また不用品処分の依頼がリサイクルと相まって年々増加しております。  
（不用品処分作業の受注契約額 1,366 万円）

#### 2. 会員拡大・就業開拓・その他について

- ① 就業紹介制度 会員が就業紹介1件ごとに粗品（200円相当）  
紹介による謝金支払実績：R04 15名
- ② 会員紹介制度 会員が会員紹介1人につき粗品（500円相当）  
紹介による会員入会実績：R04 20名  
10月以降入会者は会費半額1月以降の入会は次年度入会を条件に会費無料
- ③ 独自事業・リサイクル事業により女性会員確保
  - ・不用品処分依頼の受注により、使える不用品をリサイクル品として回収し、運搬、洗浄、展示、販売（アンテナショップ等）などの就業機会が生まれ女性の働く場が拡大。また、不用品回収と同時に、一般家庭の清掃作業、木の伐採やその他の作業も増加している。
  - ・リサイクルショップの運営（現在5店舗）。
  - ・店舗の運営は女性会員が中心となって運営している。
  - ・リサイクル品の販売、委託販売（手作り品、農産物など：販売の12%手数料）で農家の方や女性の入会が増加。
  - ・アンテナショップをサークル活動の場としても利用することで女性会員増。
- ④ 独自事業・門松制作・お正月用品の販売  
11月中旬ごろから門松制作を開始。  
特大、大門松は、和倉温泉旅館、会社関係を中心。一般家庭向けはミニ門松を製作販売。ミニミニ飾りなど商品開発も随時行っている。  
お正月用品として、輪飾り、しめ縄、ほうらい（毛筆・切絵）、仏花、榊を販売。  
1月中旬ごろ、門松撤去後の竹は竹垣に利用し冬場の作業とする。  
（剪定班が年間通して注文先確保）
- ⑤ 受注の確保として往復はがきによる年間の注文取り。過去3年間の利用者（剪定・草刈・草むしり）へ注文依頼の往復はがきを送付している。（2月頃）  
仕事の注文案内のほか、その他の仕事案内やお客様アンケート（仕事の評価）の記入欄を設けて、発注者との信頼関係を保ち、リピーターの確保につなげている。

届いた返信ハガキは職群班長に渡している。

往復はがきの数は（本年） 2,130 件送付

- ⑥ 蜂の巣とりの受注。  
近年、ハチの巣の除去の依頼が増えてきており、防護服完備し実施している。（市民の要請に応える）：外から見える場所で高さ一階部分に限る。5,000 円～10,000 円
- ⑦ 広報利用等…七尾市有料広報枠及び民間の広告利用
- ・七尾市の有料広告利用
    - ・市の広報広告枠利用（毎月 2 枠分） 112 mm×55 mm 年間利用料 205,200 円  
技能講習、ふれあい市（毎月第 2 日曜）、蜂の巣取、草刈除草、剪定など案内  
家庭用ごみ収集カレンダー 1 枠 40 mm×77 mm 利用料 100,000 円
    - ・民間のチラシ利用・・・こみみ情報局 年 3 回分 利用料 200,000 円  
新聞折込みで他の広告と共同で掲載するため相乗効果有り。
- ⑧ 「シルバー便り」は毎月地区班長を通じて会員に配布し事業内容を周知している。
- ⑨ シルバーカレンダーの配布（大型カレンダー 75×51 cm）400 部を企業、家庭等に配布。（大きくて見やすいため、欲しがることが多数。仕事の受注につながっている。）
- ⑩ 安全対策 跳ね石防止対策  
賠償事故が多発したこともあり対策として、草刈刃の使い分け。  
事故後の発注者への示談交渉や、賠償保険の手続きの手間、保険の免責 1 万円の負担を思えば、安全対策にお金をかけた方が良い。
- ・防護ネット使用。
  - ・岩間式ミラクルパワーブレード（日光製作所） 石が飛びにくい。
  - ・ジズライザーエアー（北村製作所）地面滑らせて負担が軽い。
- 安全パトロールを毎月実施。  
安全委員が中心。ペットボトルのお茶をパトロール先の就業者に配って、就業の状況や意見を聞く。
- ⑪ 適正就業 派遣業務への移行を推進。ガイドラインを活用して周知を行っている。  
請負と派遣のグレーゾーンの見極め。
- ⑫ 空き家管理としてドローン活用（県シ連より県内の各所属センターへドローンを貸与）。依頼があれば必要に応じて家の外回りを空撮して、樋や屋根修理など見積りをする。保険に加入しており、操縦者は二人登録。
- ⑬ 次世代育成、剪定講習  
作業員が不足しており、庭木の手入れの技能講習を定期に実施している。  
安全衛生特別教育規程の改定により、下肢の切創防止用保護衣着用の徹底。
- ⑭ 事務局会議の開催  
事務局長、プロパー職員 3 名による定例会を開き、センターのこれからの経営を考える場として、事務局内部の問題点の解決や、新しい独自事業の開発などを話し合う場を設けている。